

# アラシグサ

*Boykinia lycoctonifolia* (Maxim.) Engl.  
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では1山域で確認されているのみで、分布域が限定されており、生育個体数も少ない。

## 分布

北海道～本州（中部以北）に分布する。県内では奥越の亜高山帯に分布する。

## 種の特徴

高山のやや湿った草地に生える多年生草本。茎には短い腺毛が密生し、葉にも毛があり、掌状に切れ込み、裂片も更に切れ込んだ様な深い鋸歯がある。花期は7～8月、茎先端に円錐状集散花序を出し、褐色がかかった淡緑色の花をつける。

## 生育を脅かす要因

産地が限られ登山道に沿って帯状に群生することが多いので登山者による踏みつけで生育地が壊されやすい。また温暖化による種の存続への圧迫が懸念される。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# イワベンケイ

*Rhodiola rosea* L.  
ベンケイソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地は1箇所のみ。1984年以降の採取記録がない。生育地の崩壊によって、個体数が変動する。本県が国内分布の南限となる。

## 分布

北海道～本州（中部以北）に分布。県内では奥越にのみ見られる。

## 種の特徴

高山の岩場や草地に生える多年生草本。高さ5～35cm。葉は互生し、長楕円形、長さ0.5～4cm、青緑色。多肉質で、低い鋸歯がある。花期は7～8月。雌雄異株。花は茎の先につき、雄花は黄緑色、雌花は赤味を帯びる。花弁は4個。果実は紅色に熟す。

## 生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取、自然遷移。

参考文献 清水建美ほか（2014）、佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# フジキ

*Cladrastis platycarpa* (Maxim.) Makino  
マメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

嶺南地方と大野市の一部に稀にしか見られない。最近30年の採集記録はない。

## 分布

本州（福島県以南）、四国に分布。県内では、おおい町、小浜市、大野市で採集記録がある。

## 種の特徴

山地に生える落葉高木。葉は奇数羽状複葉で長さ20～30cm程度で互生する。夏に枝先に長さ15～25cmの総状花序を出し、白色の花をつける。

## 生育を脅かす要因

山地の開発。

参考文献

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○											○	